

患者・住民の健康管理のための ヘルスケア情報の利活用基盤の開発



大坪 徹也

Tetsuya Otsubo

教授 博士（社会健康医学）

医学系研究科 医学専攻 社会環境医学系 医療情報学講座

研究キーワード

全人的医療、EHR(Electronic Health Record)、PHR(Personal Health Record)、IoT(Internet of Things)

研究概要

本研究は、住民一人ひとりの生活・身体・心の状態に寄り添った全人的な健康支援を実現するために、地域でのヘルスケア情報を活用できるしくみとして、**情報利活用基盤**を開発することを目的としています。

多様なヘルスケア関連データを統合的に扱い、相互活用できるしくみを構築します：

- 医療機関が保有する**リアルワールドデータ**
- 住民自身が管理する**パーソナルヘルスレコード**
- 介護記録や健診結果などの**健康関連情報**
- ウェアラブル端末やIoT機器**から得られる日常的なバイタル・行動データ

これらの情報を、個人単位で統合的に管理・分析できるようにすることで、医療・介護・健診などのサービス提供者が連携しやすくなり、また住民自身の健康意識向上にもつながります。

さらに、地域全体の健康課題や支援ニーズを可視化・分析することで、予防的な支援や効率的な資源配分の実現に役立てます。

予想される応用例

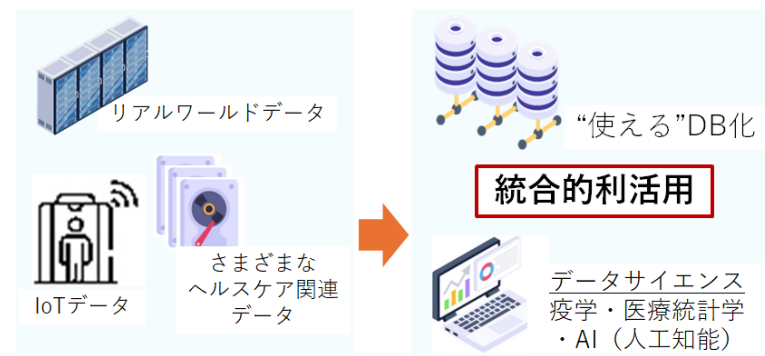
- 情報を編集し、伝えるアプリケーションの開発
- 情報セキュリティやプライバシー保護のための仕組みの開発
- 恒常的なデータ収集のための仕組みの開発

医学系研究科 医学専攻 社会環境医学系 医療情報学講座

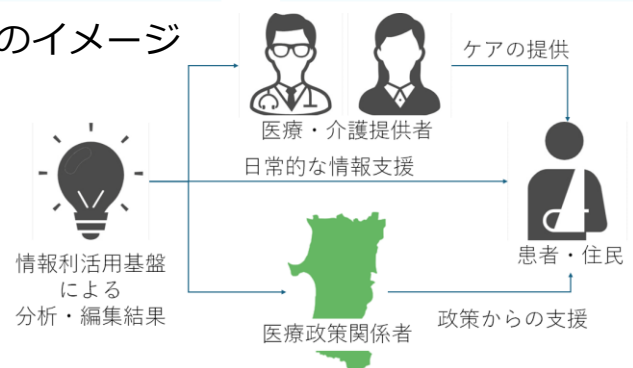
研究室ホームページ：https://www.med.akita-u.ac.jp/department/gs/kenkyu-org/kouza.php?koza=med_inf

※お問い合わせは秋田大学 産学連携推進機構まで

情報利活用基盤のイメージ



利活用のイメージ



産業界へのアピールポイント

産学連携による情報をつくる技術、つかう技術、つたえる技術の適用により、基盤開発と実装が推進されます。



秋田大学
Akita University